

詰将棋の基本的ルール



※ 詰める側を攻方とよび、詰められる側を玉方とよびます。

- ① 攻方が先手です。
- ② 攻方は、王手の連続で詰ませます。
- ③ 玉方は、最善・最長手順になるよう王手を回避する手を指します。
- ④ 玉方の持ち駒は「残り全部」であり、盤上の駒、攻め方の持ち駒及び残りの玉将を除くすべての持ち駒とします。
- ⑤ 玉方は、使われていない駒を合駒として打つことができます。
- ⑥ 取られるだけで詰手順の本質に変化を生じない玉方の合駒は「無駄合」と言い、手数に含めません。
- ⑦ その他、駒の動かし方等のルールは指し将棋に準じます。

※詰将棋問題は作者のオリジナル作品です。

ただし、現在まで様々な詰め手筋が出現しているため
類似作品等があるかもしれませんが、ご了承願います。